

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2025年2月10日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社アクアネット広島
所在地	〒730-0031 広島県広島市中区紙屋町2-2-12 信和広島ビル8F
代表者役職・氏名	代表取締役 辻村 麻衣子
担当者連絡先	電話：082-569-5910
	メール：toshihiro.yamanaka@aqua-net-h.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.aqua-net-h.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>世界文化遺産である原爆ドーム（平和記念公園）と厳島神社（宮島）を結ぶ「ひろしま世界遺産航路」、宮島口と宮島を結ぶ「宮島口 - 宮島航路」などの旅客定期航路事業の他、遊覧船等の不定期航路事業を行っている海運事業者です。</p> <p>旅客船9隻と棧橋2基を所有しており、自社にて保守管理を行いながら、安全最優先の運航を実施しています。</p>

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	環境保全・生態系の保護	・低燃費航行による燃料使用量削減を推進 ・環境汚染に配慮した船舶整備と船舶運航を継続して行い、温室効果ガスの削減を推進 ・適切な排水処理や油漏れの厳重注意を継続
□環境 ✓社会 ✓経済	安全で品質のよいサービスの提供	・船内での注意喚起やアナウンス等、乗客の安全確保取組みを継続 ・苦情対策窓口の設置等による品質向上取組みを継続
□環境 ✓社会 ✓経済	労働環境の整備と人材育成	・安全を最優先した事業運営を継続 ・英語やAEDの社内研修及び安全講習等、適切な能力開発・教育訓練の機会の提供を継続

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1 【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	産育休及び短時間勤務の規定を制定 雇用・教育・昇進・昇格など雇用条件で差別しない体制を構築					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	ハラスメント防止に関する規則を整備 ハラスメントセミナーの定期的な開催					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3 【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	時間外労働の防止								8.5 8.8									
	4 【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	5 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	安全を最優先した事業運営 船内労働での安全装備装着の徹底 定期的な訪船と密な情報共有を実施し、安全運航を実現			3					8									
	6 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる				3														
	7 【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる						5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8 【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	適切な能力開発、教育訓練の機会を提供(英語やAEDの社内研修、安全講習等)				4	5.5			8	9								
	9 【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
	10 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	定期健診の実施、健康状態の把握			3					8									
環境	11 【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	ごみの分別・リサイクルを促進 裏紙の利用などによるリユース ペーパーレスによる紙資源のリデュース										11.6	12.4 12.5		14.1				
	12 【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	こまめに電気を消すなど事務所内での節電 クール・ウォームビズの推進							7.3					13					
	13 【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	低燃費航行による燃料使用量の削減 ニューエネルギーと最適な船質(FRP)の検討 環境汚染に配慮した船舶整備と船舶運航							7.2 7.3				12.4	13.3					
	14 【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	海難事故防止への安全取組			3.9				6.3			11.6	12.4						
	15 【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している								6.6								15		
	16 【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	適切な排水処理や油漏れの厳重注意などによる水質汚染対策 節水の徹底							6.4 6.6										
	17 【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9				6	7				12	13.3	14	15		
	18 【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
	19 【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる									7.2						13			
	20 【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	21 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	乗客が乗下船する際の足元や頭上への注意喚起 船内での安全に関するアナウンス 安全方針を社内外に浸透 安全会議を実施予定			3.9								12.4						
	22 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	苦情対策窓口を設置 品質向上会議を実施予定									9								
	23 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる						6					12	13	14	15				
	24 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	ステークホルダーの環境方針に沿ったサービスの提供	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	25 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	広島、宮島の観光事業への貢献 地域行事や環境会合への参加 地元人材の積極的な雇用促進				4					9	11	12		14	15		17	
	26 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	地元の祭りなどへの寄付				4						11			14	15		17	
	27 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	地元大学との連携を検討							8	9		11	12	13					
組織体制	28 【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内でも共有している	SDGsに関するセミナーの実施 SDGsに関する取組を社内でも共有								8	9							17	
	29 【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	反社会勢力排除規定 取締役会による適切な提言																16	
	30 【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	勤怠管理や経理などクラウドサービスの利用(専門部署の体制を整備) 緊急連絡体制の設定																16	
	31 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	消費者、金融機関等との定期的な面談																16	17
	32 【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																		16
	33 【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																		16
	34 【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	海難事故発生時に事業継続計画を策定									9		11		13				16
	35 【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	事業承継に関する検討・対策を実施 新型コロナなど不測の事態が発生して利益が出ない状況でも、社員への給与支払いや事業継続ができるような体制を整備								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。